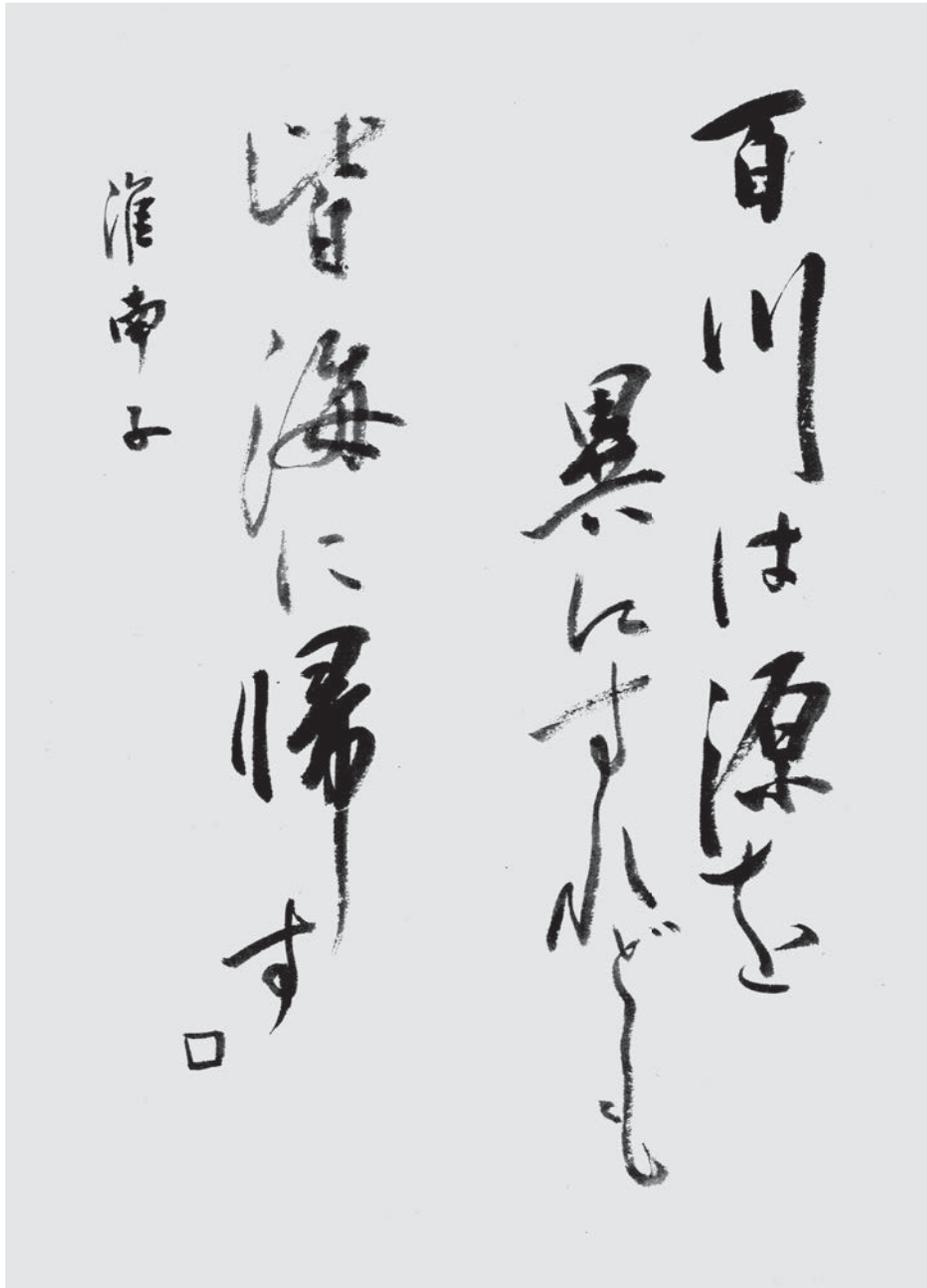


調和体を書く(8)

締切り 八月二十五日(必着)



奥村憲照先生書

回作品の出し方

- ▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二mm)以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。(黒色に限る)
- ▼毛筆部 B半紙に書いて下さい。(筆ペン可)
- ▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬毛のどちらか一方に限ります。
- ▼事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績(毛筆の場合は毛筆漢字の成績)を、作品余白にお書き下さい。
- ▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

◆書道のジャンルには、大別して「漢字」「かな」「漢字かな交じり書」の三つがあります。

◆現代日本の文章表現は全て漢字かな交じり書ですが、ここでは芸術的創作作品を指し、「調和体」「近代詩文」として書展の一部門を占めています。

◆読める書として人気を高めています。が、古典といわれるものがない故に書法はまだ確立しておらず、各団体で新和様・新書芸などのいろいろな呼称で研究が進められています。

◆今回のお手本は、前会長奥村憲照先生が(財)日本書道教育学会に關係していた頃の「新和様」のお手本です。本誌初登場です。

◆読めてかつ、書格の高い作品を目指して研究してまいります。

〔読み〕

百川は源を異にすれども

皆海に帰す

奥村憲照

〔解説〕

①可読性を大切に。

②変体仮名・連綿はなるべく控える。

③構成を工夫してみよう。

※落款(署名・捺印)は、作品の一部としてバランスよく収めて下さい。

※印のない方は赤ペンで書き入れて下さい。

準初段から六段まで

新入から1級まで

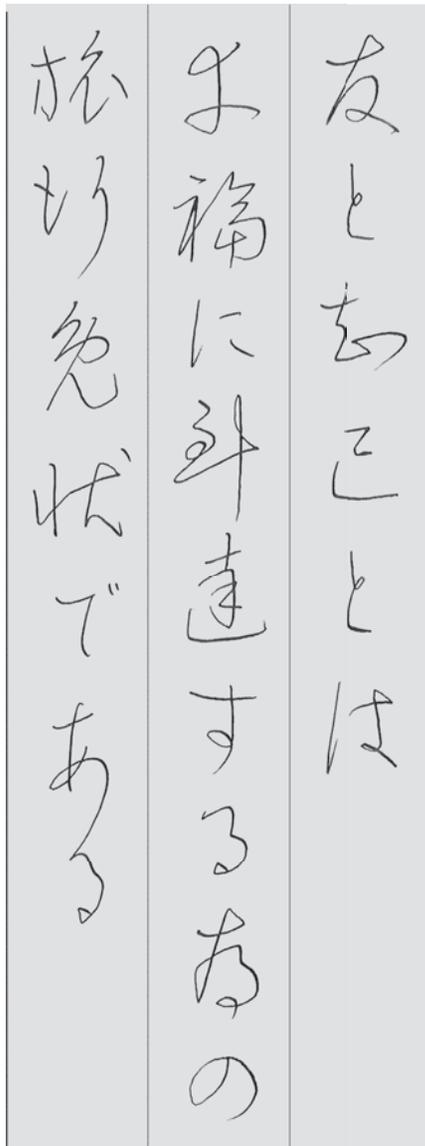
〔解説〕

〔読み〕友と知己ちぎとは 幸福に到達する為の 旅行免状である



◎今月は草書です。改めて字典を引く方も多いと思うが、調べることで形の違い等が理解出来、答えが出た時のように楽しいものである。字典に親しんで下さい。

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

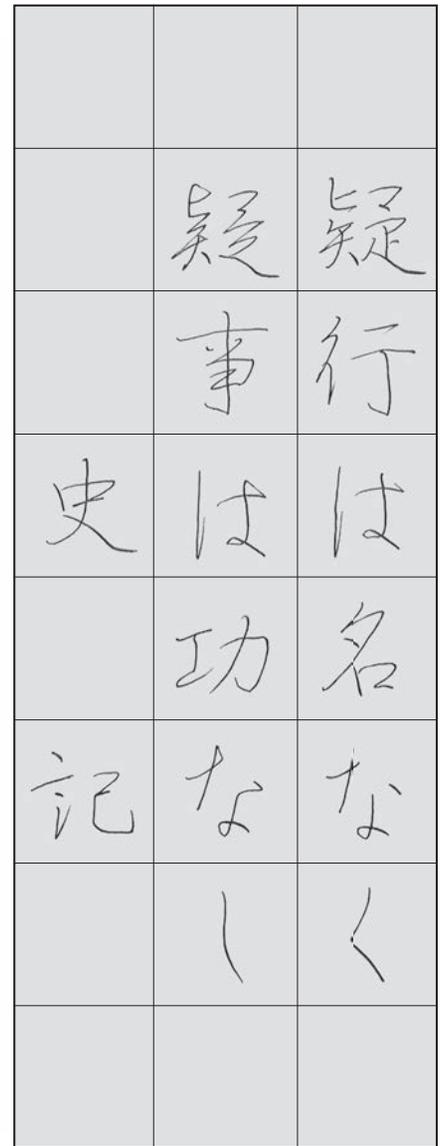


おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

★疑行は…(書体Ⅱ行書)

「史記」二十四史の一つ。黄帝から武帝までのことを記した史書。

「疑行」とは確信を欠いたあやふやな行動で「疑事」も同じような意味。

秦の始皇帝の時代に商鞅しょうがうという宰相が抜本的な国政改革を行って富強の基を築きました。改革を断行した際にこの言葉を引き、綿密な調査と十分な準備の必要性もあわせて語っています。

◆9月課題予告(楷書)

仕事は

人間の心を

映し出す鏡だ

★友と…(書体Ⅱ行草または草書)

ショウペンハウアー(二六八～一六〇)

ドイツの哲学者

人は自分に無い幸福を幸福と考え、それが得られないと幸福になれないと思ひ込む人も多くいる様です。

多彩な人とき合うと、いかに自分が制限された感覚の中で生きているのかがわかります。友情と恋愛は人生の幸福を生み出す源泉でしょう。

◆9月課題予告(行書)

毎日平凡な事を

平凡な気持ちで

実行する即ち非凡

▼教範・書範Ⅱ楷書

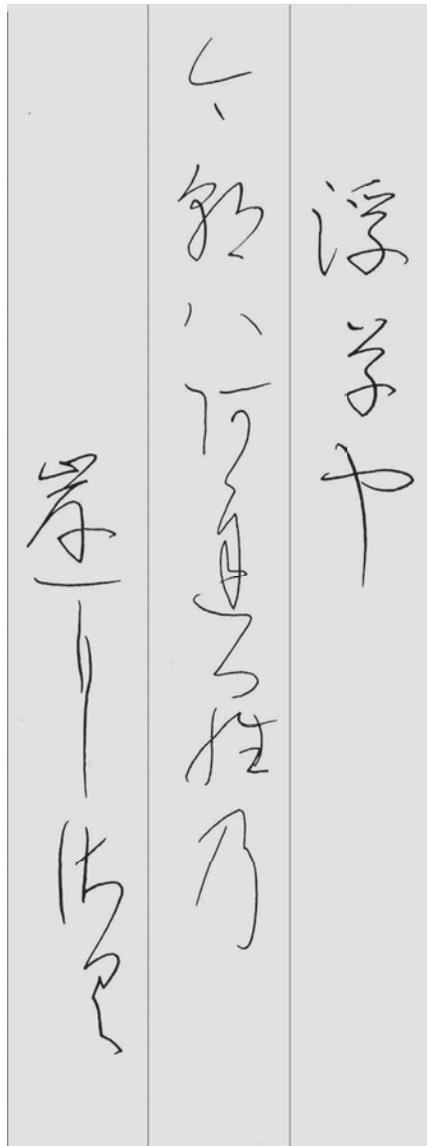
▼師範Ⅱ行草または草書

一般部かな課題

締切り 8月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで



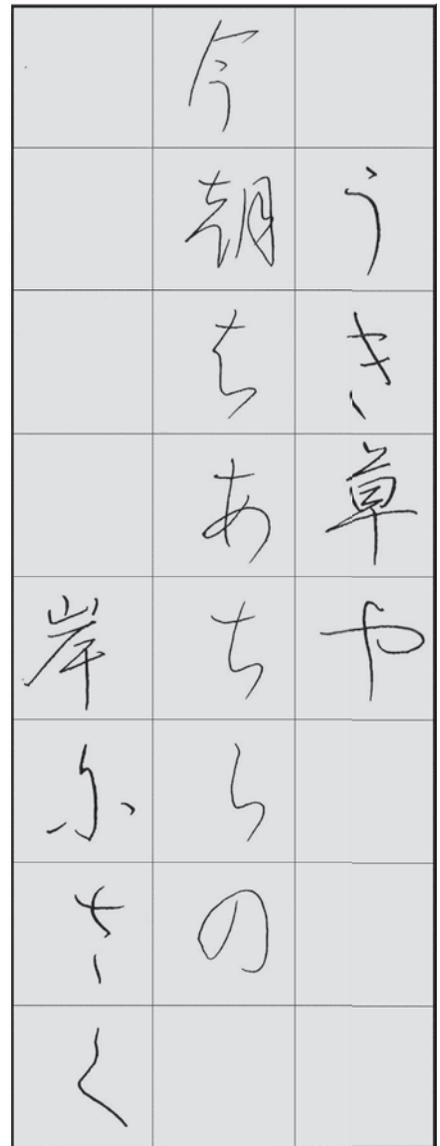
浮草や今朝はあちらの岸に咲く

八阿羅漢乃耳佐具

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙



浮草や今朝はあちらの岸に咲く

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

田中貴光書

▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆9月課題予告

秋風や嵐のこかす杖の音

(稲津祇空)

【解説】「**ナ**」「**ヤ**」の縦画の線は、出だしてペンを突いて力を入れ、徐々に力を抜いて最後は払う。「**ナ**」の二・三画目は、軽く入り、徐々に筆圧をかけ徐々に筆圧を抜いて払う。

者者者者者者
阿阿阿阿阿阿
羅羅羅羅羅羅
尔尔尔尔尔尔
具具具具具具

【古筆参考】

【句解】見なれた岸の浮き草が、今朝はすっかり向こう岸に吹き寄せられて、白い可憐な花を咲かせている。
【鑑賞】へ今朝はあちらのへは、裏に「昨日はこちらの」の意を含む。平明な叙景の中に寓意(物にかこつけ意をほのめかすこと)を感じさせる。

浮草や今朝はあちらの岸に咲く

(中川乙由)

締切り 8月25日(必着)

以前話していたアルバイトですが
今もまだ探していますか。という
のは、学生時代の友人が雑貨店を
経営していて、若く明朗な女性を
是非、紹介して欲しいとの事です。
興味があれば早めにご一報下さい。

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具はがき、横書き課題ともに自由。
(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

※手本は水性ボールペン使用

以前話していたアルバイトですが
今もまだ探していますか。という
のは、学生時代の友人が雑貨店を
経営して、若く明朗な女性を
是非、紹介して欲しいとの事です。
興味があれば早めにご一報下さい。

横書き課題

お 尾 ごう 翠 ごう 光 書
郷 翠 光

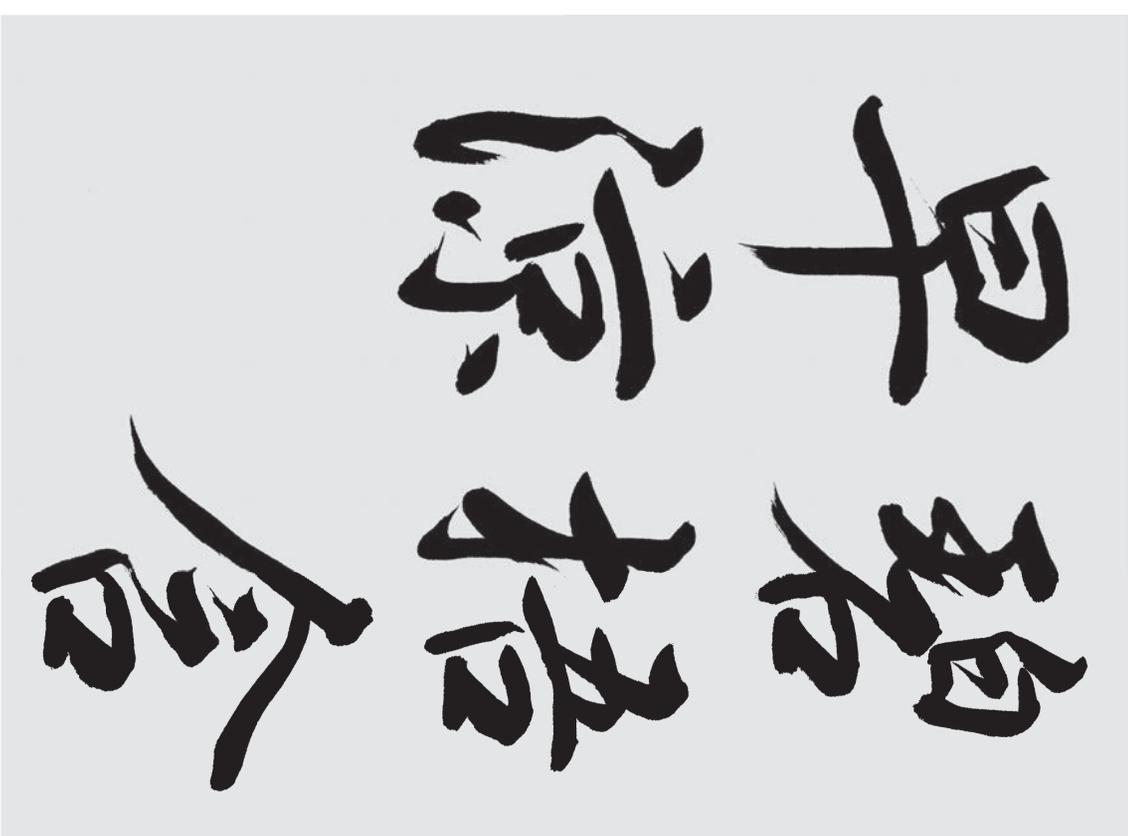
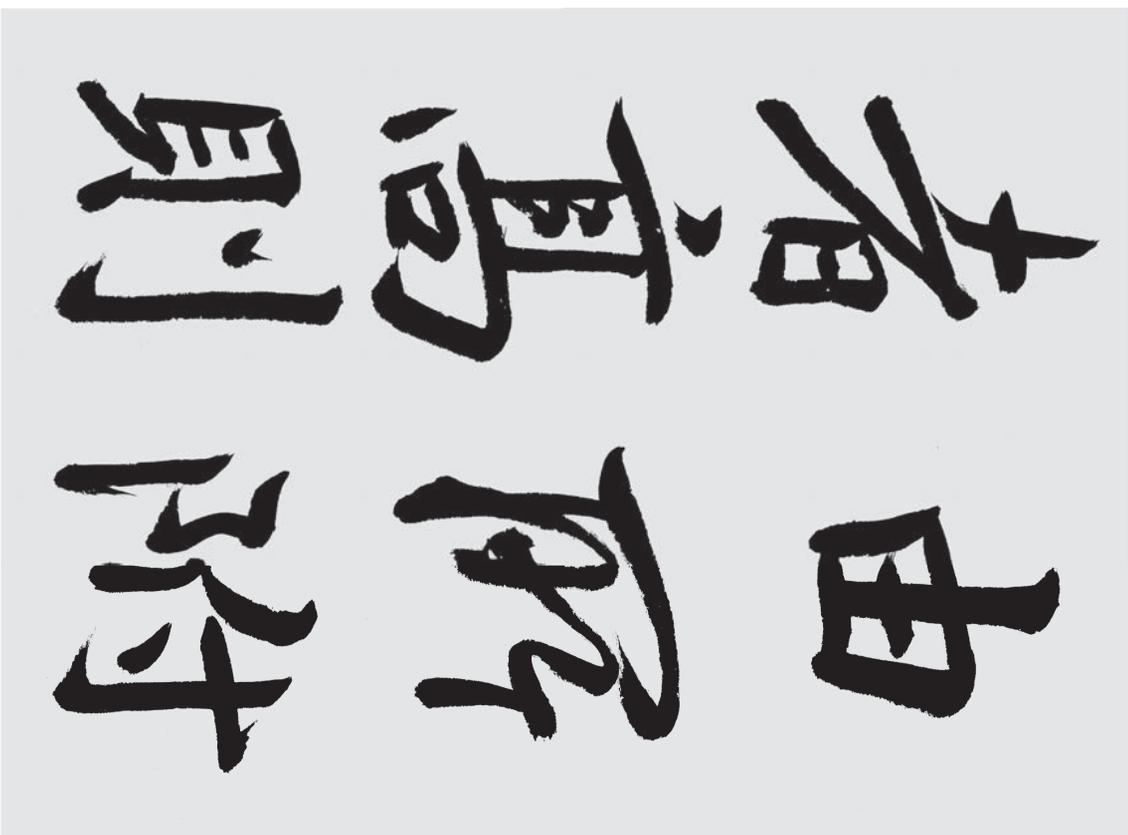
儒教の祖、孔子の言行などを弟子
らが筆録したものを論語という。

兵庫県赤穂市 氏 名

※手本はつけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 8月25日(必着)



準初段から師範まで

新入から1級まで(行書)

奥村暢之臨

須田一葉書

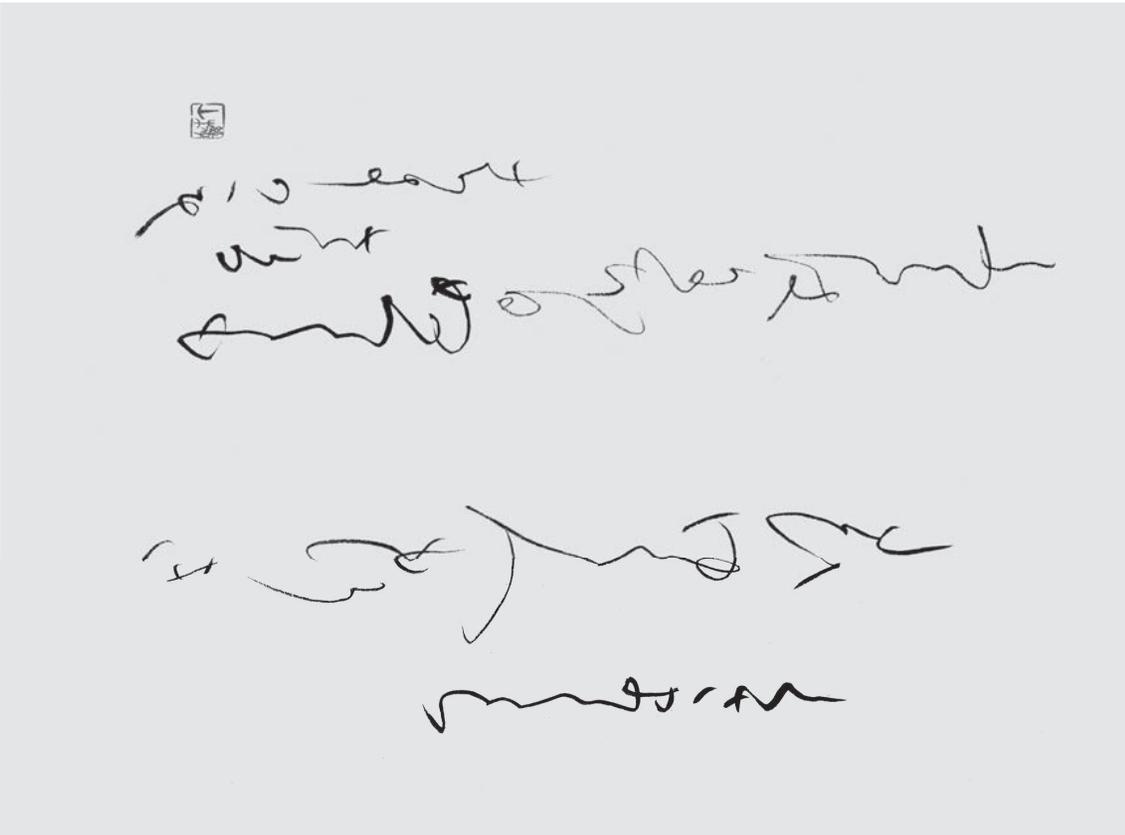


【出典】集字聖教序(623) 【筆者】王羲之法書より集字
 【読み】(良に) 附く所の者高ければ、則ち

【読み】碧梧早涼を含む
 【大意】青桐に、秋近い涼しさがただよってきた。 ※碧梧(青桐のこと)

一般部毛筆かな課題

締切り 8月25日(必着)

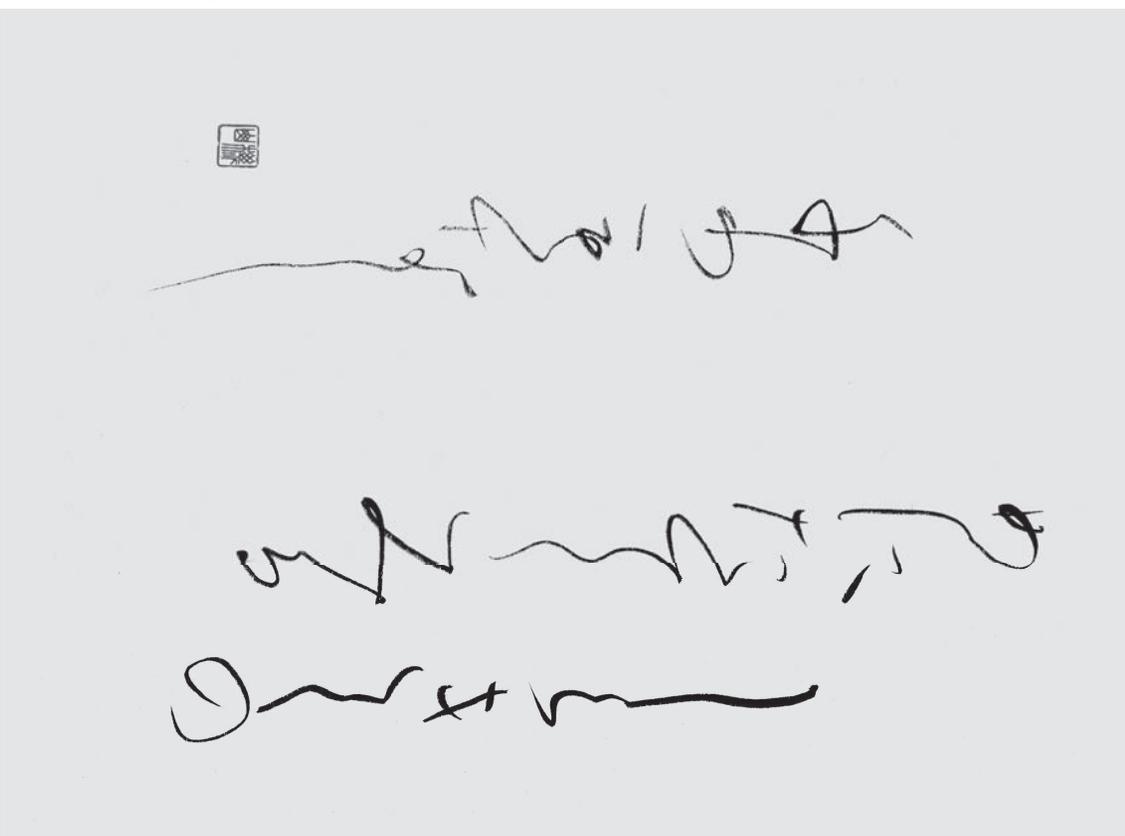


準初段から師範まで ■ 而課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。

草枕くさまくら 旅行りょこうく人も行き触ふらば
 にはひぬにほひぬべくも咲さける萩はぎかも

【出典】 笠金村かさかねむら

【歌意】 (くさまくら=枕詞) 旅行く人がもし衣が触れたならば、色が染まりそうなほどに咲きみちている萩萩であるよ。



新入から1級まで

浅井あさい機山きざん先生書

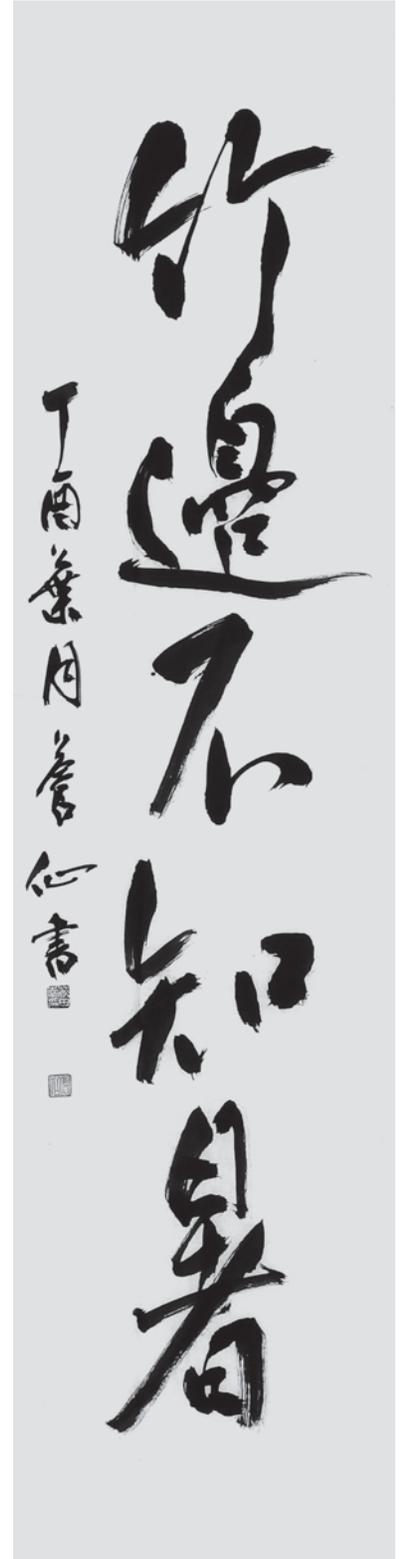
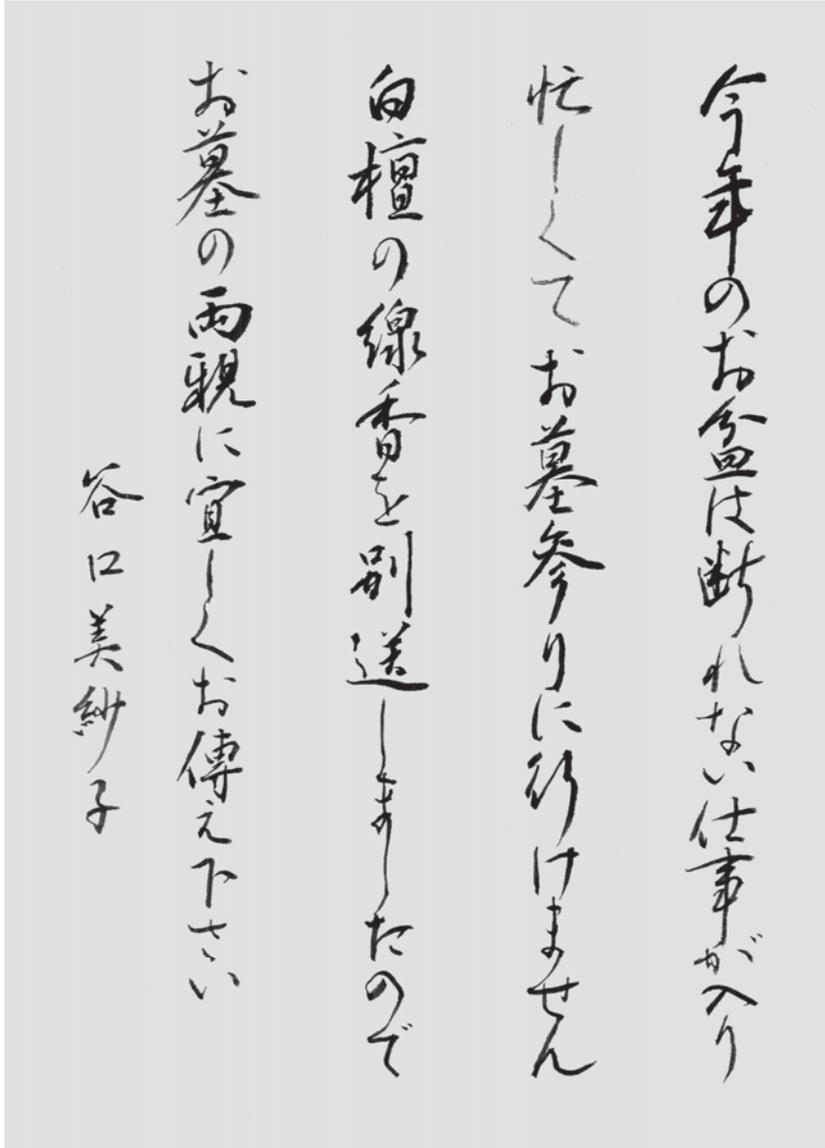
白菊しろぎくの目にめ立ちた見るみ塵ちりもなし

【出典】 松尾芭蕉まつお ばしやう

【句意】 白菊はよく気をつけてみても、一点の塵もなく清らかなことだ、の意。園女の風雅の清純さをたたえた挨拶の句である。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



締切り 八月二十五日(必着) 半切(一三六cm×三五cm)

荻田蒼仙書

半紙(334mm×240mm)

樋田玲華書

「大意」竹の茂るあたりでは暑さを感じない。
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

丁酉葉月〇〇書
姚廣孝

ちくへんあつさしらす
竹邊不知暑

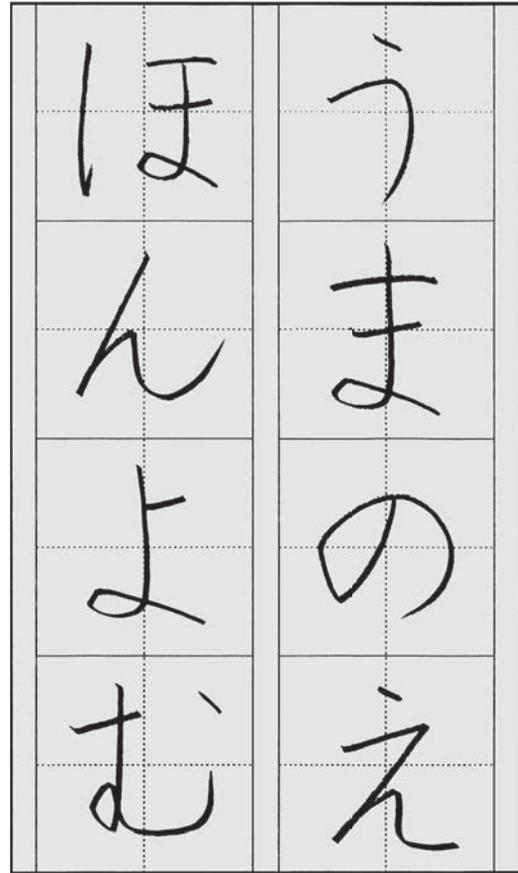
〔条幅解説〕創作する方、作例(手本)を参考に創作される方に。一、全体の章法、二、文字の余白、三、線の太・細の変化、四、転折で押さえ直しをしない用筆。作品を書いたら、以上を確認して下さい。

今年のお盆は断れない仕事が入り
忙しくてお墓参りに行けません
白檀の線香を別送しましたので
お墓の両親に宜しくお伝え下さい
(ご自分の氏名)
・印で墨つきしました。

〔条幅・細字作品の出し方〕

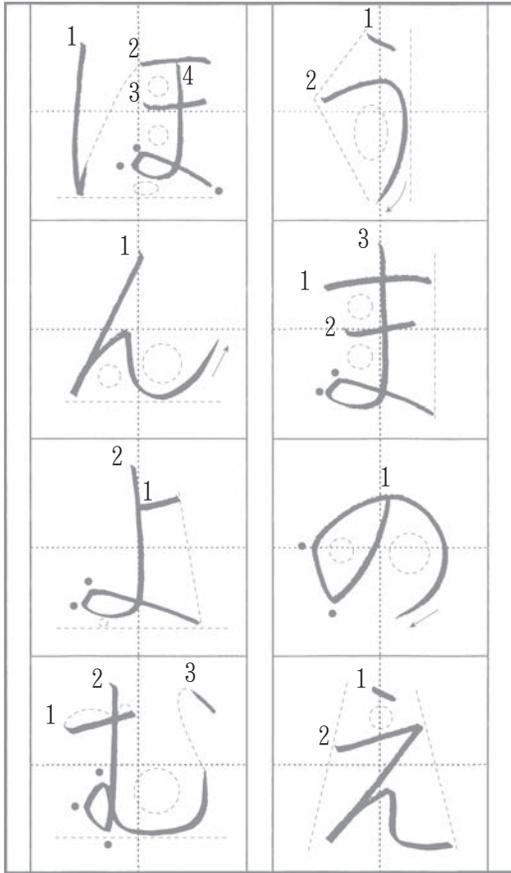
- 新人から師範まで、どなたでも出書できます。
- 成績(天位5等)は、評価により毎月かわります。
- 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よ
う
年



★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)



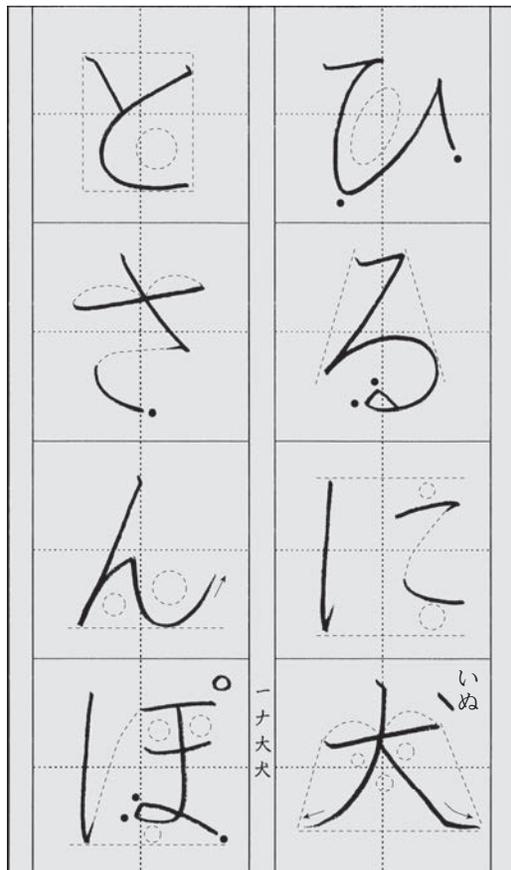
〈ようぐ〉自由(黒色にかきこむ)

小
一
年



(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入〜1級



幼年〜小三年まで
三宅容玉書

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかぎる)

く	六 <small>ロク</small>
に	人 <small>ニン</small>
な	家 <small>カ</small>
る	ぞ

新入〜1級

く	て	妹
に	六	が
な	人	う
る	家	ま
よ	ぞ	れ

準初段以上

小二年

準初段以上

て	虫 <small>むし</small>
遊 <small>あそ</small>	と
ぼ	り
う	し

新入〜1級

し	ら	近
て	で	所
遊	虫	の
ぼ	と	草
う	り	む

準初段以上

小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

〈用鼻 自由(黒色に限る)〉

窓	祖
城	父
見	母
	家

まど
シネ利和祖祖

しろ
ハハジ父

み(える)
ムククク母

いえ
ハハカオオ家

解説(よく見て習いましょう)

城	は	祖
が	窓	父
見	か	母
え	ら	の
る	お	家

小六年

(全員)

を	山	父
実	登	親
現	頂	と
し	の	富
た	夢	士

中二・三年

(行書)

通	絵	友
い	画	の
始	教	勸
め	室	め
た	へ	で

中一年

(行書)

▼小三年以下の課題

おおすか そうりゅう
大須賀 桑 龍 書

水	交	ひ	校	夏
やり	代	ま	庭	休
しま	で	わり	に	み
す		に	さ	は
			く	



◎お手本はえんぴつ使用



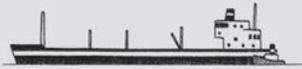
しめきり 8月25日(必着)

習っていない漢字は
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

ふくおか しゅうせん
福岡 舟 泉 書

安	貯	コ	輸	世
定	蔵	ン	入	界
供	し	ビ	した	各
給		ナ	原油	国
す		ー	を	か
る		ト		ら
		に		



◎お手本はつけペン使用

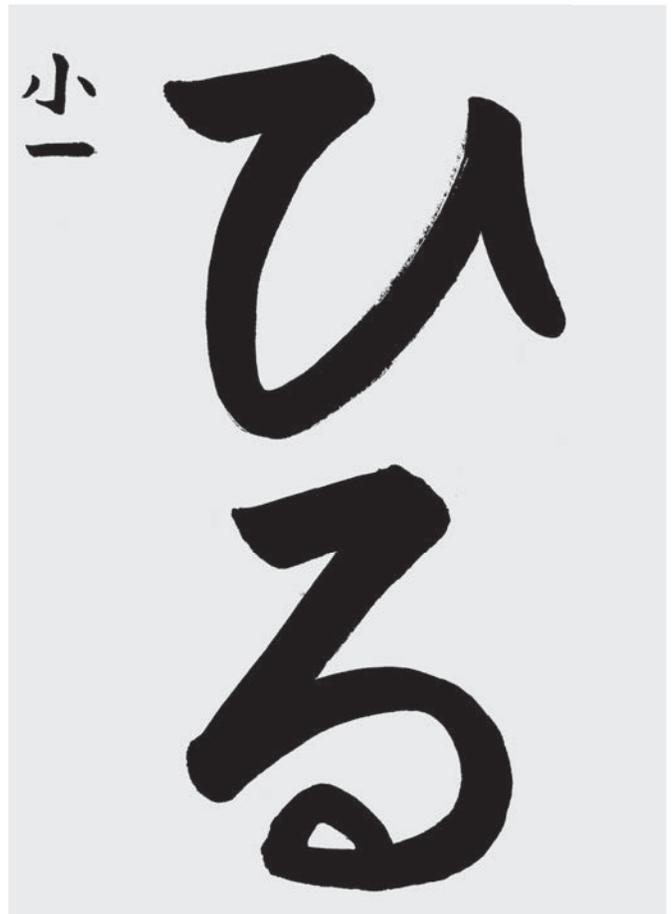
◇作品の出し方

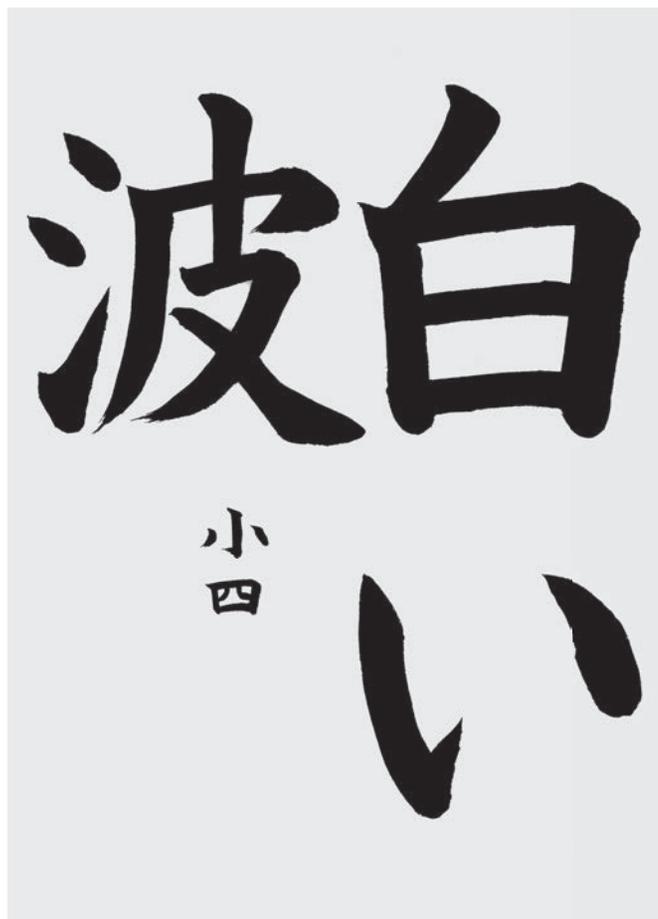
- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。





幼年よ小二年
玉樹たまき
小華書しょうか





小三〜小五年 水野の香竹書



小六(中二・三年)

奥村暢之書



※行書は線の連なり(気脈)に注意しよう。

